NITO

施工説明書

EV・PHEV 用普通充電シリーズ

コンセント 100V タイプ /200V タイプ　EVP-1R1/EVP-1R2

管理者および施工業者各位

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
施工前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しく施工してください。
また、施工後は施主様に商品説明を行ってください。なお、保守・点検の際も活用しますので
施工説明書・取扱説明書は所定欄に施工業者名を記入の上、まとめて施主様にお渡しください。
施工は必ず有資格者（電気工事士※）が行ってください。※工事内容や規模により、この限りではありません。

もくじ

安全上のご注意 …… P.1
■施工上のご注意 …… P.2
■各部の名称 …… P.4
■付属品 …… P.4
■施工前確認事項 …… P.5
■施工手順 …… P.6
■仕様 …… P.14
お問合わせ先 …… P.16

安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「警告」「注意」として区分してあります。

⚠危険	取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を招く差し迫った危険な状況を示します。
⚠警告	取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を招くおそれがある危険な状況を示します。
⚠注意	取扱いを誤った場合に、軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害のみの発生するおそれがある場合を示します。

なお、⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

•お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。

⃠ してはいけない内容です。

❗ 実行しなければならない内容です。

■施工上のご注意

⚠危険

	破損したコンセントは使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。
 水ぬれ禁止	コンセントに水をかけないでください。 漏電・火災・感電のおそれがあります。
	感電防止のため、施工作業に入る前に必ず給電元ブレーカをOFF にして、電源線に電圧がないことを確認してください。また作業が完了するまで絶対に給電しないでください。
	施工・保守・点検時に取外した端子カバー、保護カバーなどは必ず元の位置に戻してください。感電や短絡による事故のおそれがあります。

⚠警告

 分解禁止	分解・改造は絶対に行わないでください。 感電・火災の原因となります。
	可燃性ガス・腐食性ガス・じんあい・引火物の近くに設置しないでください。感電・火災・故障の原因となります。
	ボデーの下方は水抜きになりますので、防水処理を行わないでください。
 アースせよ	感電防止のため、必ず接地工事（D種）をしてください。
	設置面との間に、異物を挟まないようにしてください。
	電源線を配線する際は、必ず分電盤に専用回路を設け、給電元に高速高感度形（0.1sec 15mA）の漏電ブレーカ（EVP-1R1は定格電圧 100V 定格電流 20A、EVP-1R2 は定格電圧 200V 定格電流 20A）を設置してください。
	内部機器を濡らすことがないように作業してください。 火災のおそれがあります。
	車両が通るところに設置する場合は、必ず防護柵や車止めなどを設置して、車両と衝突しないようにしてください。
	内部配線に干渉しないように電線を収納してください。
	運搬・設置の際は、周囲の安全を十分確認してください。 落下・転倒によるけがの原因となります。
	工事作業中は、手袋などの保護具を着用してください。 けがをする原因となります。
	線間の絶縁抵抗測定は、製品から配線を外して配線を測定してください。配線を外さずに測定すると破損のおそれがあります。対地間の絶縁抵抗測定は、製品に配線を接続して250 V 以下で測定してください。500 V 以上の測定は破損のおそれがあります。
	対地間の電圧測定は、製品内のアース線を外して行ってください。
	導通部の接続ねじは施工説明書（本紙）の適正締付トルクの範囲内で定期的に増締めしてください。ねじがゆるんでいると発熱し、火災のおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク　N･m
M5 入線用端子	2.0 ～ 2.5

⚠注意

国外では使用しないでください。日本国内専用です。

使用環境温度範囲は－10℃から＋40℃（氷結なきこと）です。この温度範囲を超えるような場所には設置しないでください。

強い衝撃を与えたりしないでください。
感電・火災・故障の原因となります。

上に乗ったり、もたれたりしないでください。破損し、事故につながるおそれがあります。

階段、非常口などの付近で避難の支障となる場所に設置しないでください。

貼付してある銘板シール（製造年月、製造番号等の記載シール）をはがしたり、汚したりしないでください。

有機溶剤、切削油、薬品などのかかる場所または充満した場所では使用しないでください。また、本製品外装部品の耐薬品性は下表を参考にしてください。

薬品など	性能	薬品など	性能	薬品など	性能
弱酸	○	アルコール	×	シンナー	×
強酸	×	ベンジン	×	四塩化炭素	×
弱アルカリ	○	ガソリン	×	油	×
強アルカリ	×	灯油	×	有機溶剤	×

○：実用に耐える
×：使用に適さない
（ヒビ、割れの発生する可能性有り）

設置場所の環境条件により差が生じる場合がありますので、必ず使用目的に沿った実用試験にて性能を確認してから設置してください。故障の原因となる可能性があります。

高精度な電子機器の近くに設置しないでください。電子機器に影響を与える場合があります。（影響を与えるおそれがある機器の例：補聴器、その他医療用電気機器、火災報知器）

植込み型心臓ペースメーカ及び植込み型除細動器（ICD）をお使いの方は、充電器本体部からの電波が作動に影響を与えるおそれがありますので、充電中は密着するような姿勢はとらないでください。

配線工事は「電気設備技術基準」および「内線規程」に基づいて施工してください。

本製品の施工にあたり、下記ガイドラインを参照して施工してください。
「ＥＶ普通充電用電気設備の施工ガイドライン」
（一社）日本配線システム工業会

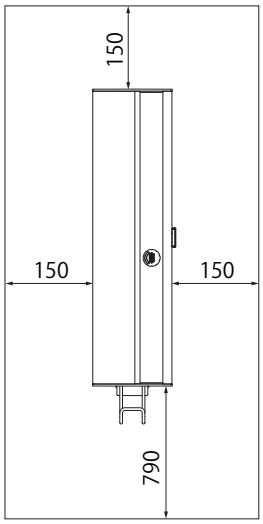
加工の際に発生した切り屑は完全に除去してください。
けがをするおそれがあります。

加工した端面のバリを処理してください。端面をタッチアップペイントで補正してください。

十分な強度のある平らな壁面に設置・固定してください。
強度が不十分な場合、製品が落下するおそれがあります。
また製品は水平に取付けてください。

安全性、操作性、保守、点検のために製品の周囲に下図のスペースを空けて設置してください。

＜ボデー前面図＞　（単位：㎜）



電源線、可とう管などは電気定格を確認した上、設置環境に応じ適切なものを選定してください。

充電コネクタが車両に無理なく接続できる場所に、設置してください。

雨や直射日光が当たりにくい場所で風通しがよく、また著しい騒音や振動のない場所に設置してください。

植栽などの土がかからないようにしてください。

ぶつかったり、つまずいたり、通行などの妨げにならないよう周囲の状況に十分配慮して設置してください。

部品の取付けには寸法の合った工具を使用し、適正締付トルクを守ってください。

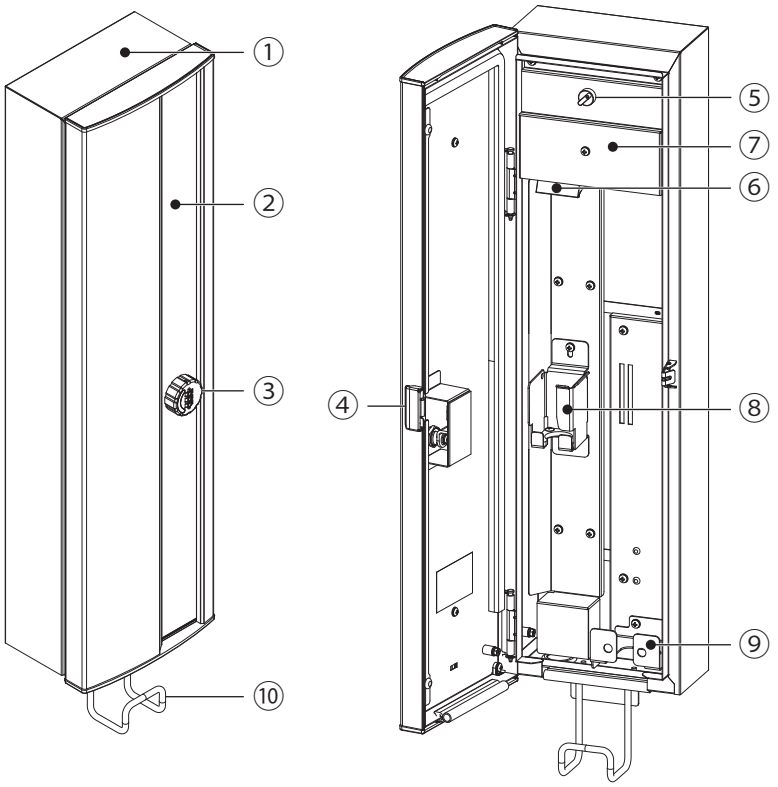
ねじの呼び	適正締付トルク　N･m
シールドケースカバー取付ねじ	1.47 ～ 2.45
ケーブルフック取付ねじ	1.76 ～ 2.94
コネクタ収納部取付ねじ	1.47 ～ 2.45

配線口は配線作業終了後、適切な防水処理を行ってください。

電源線は、張力のかからないように余裕を持って配線してください。

給電元ブレーカを ON にした際に動作が確認できない場合、または適正電圧（EVP-1R1 は AC100V±10%、EVP-1R2 は AC200V±10%）が確認できない場合は本製品のスイッチおよび給電元ブレーカをただちに OFF にしてください。配線や安全状態を確認した上で、再度 ON にしてください。それでも動作が確認できない場合は、「お問合わせ先」（P.16）までご連絡ください。

■各部の名称



部品名	
①	ボデー
②	ドア
③	ダイヤル錠
④	ラッチ
⑤	スイッチ
⑥	100V 用コンセント（EVP-1R1） 200V 用コンセント（EVP-1R2）
⑦	シールドケース（保護板）
⑧	充電コネクタホルダー
⑨	コントロールボックスホルダー
⑩	ケーブルフック

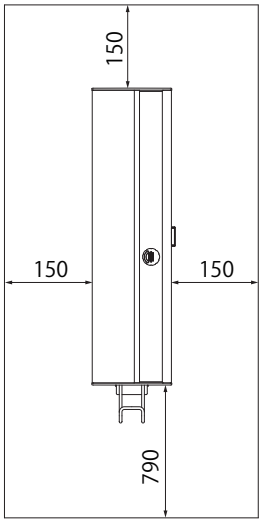
■付属品

部品名	施工後に、施主様にお渡しください（付属品4点）			
	施工説明書 （本紙）	取扱説明書	L 型レンチ	付属品ラベル
数量	1 部	1 部	1 個	各 1 枚

部品名	ケーブルフック	取付ねじ M5×12SUS	大形丸座金 5SUS
数量	1 個	2 個	4 個

■施工前確認事項

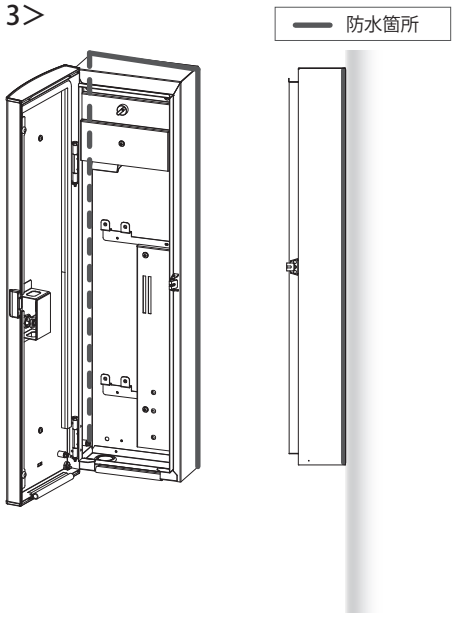
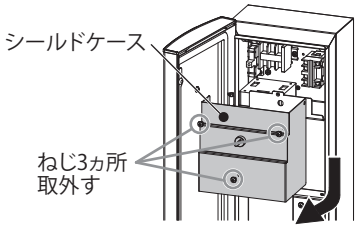
施工前に下記内容をご確認ください。

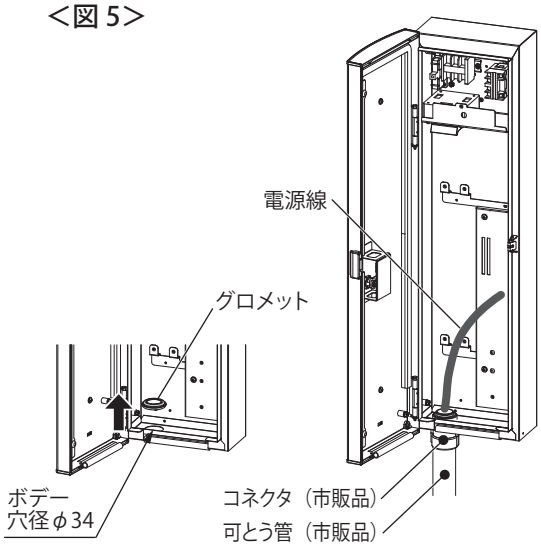
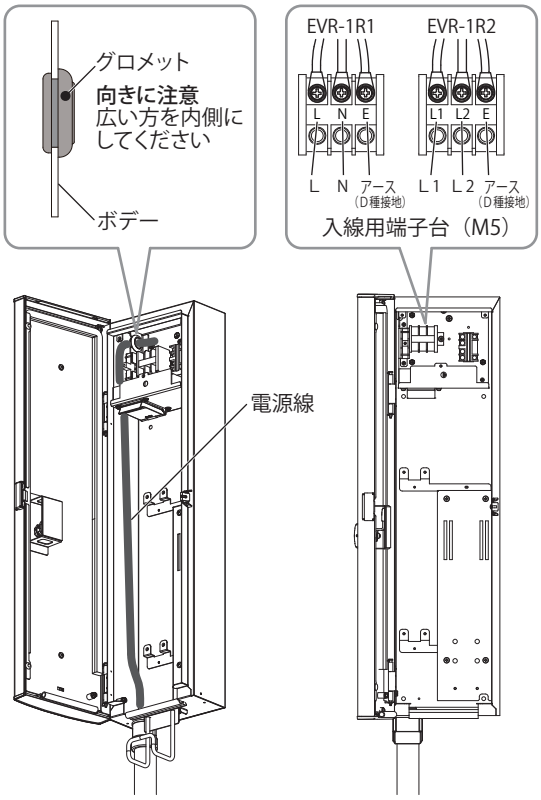
手順	作　業	説　明	注意事項
1	設置スペースの確認	配置および保守・点検時に作業が行えるよう下図のスペースを確保してください。 各部の寸法は「■仕様」（P.14）を参照してください。 （単位：mm）  	⚠注意 安全性、操作性、保守・点検のために周囲に左図のスペースを空けて設置してください。
2	電源回路の確認	EV 専用の電源回路を設置し、必ず給電元に高速高感度形（0.1sec 15mA）の漏電ブレーカ（EVP-1R1 は定格電圧 100V 定格電流 20A、EVP-1R2 は定格電圧 200V 定格電流 20A）が使用されていることを確認してください。	

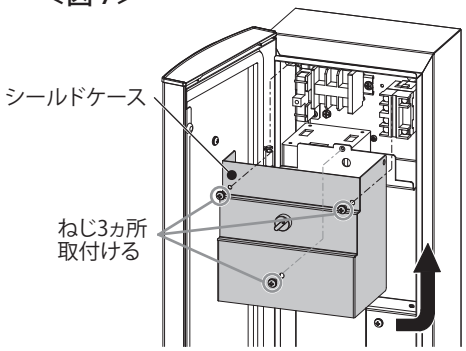
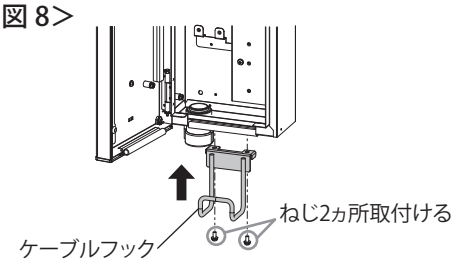
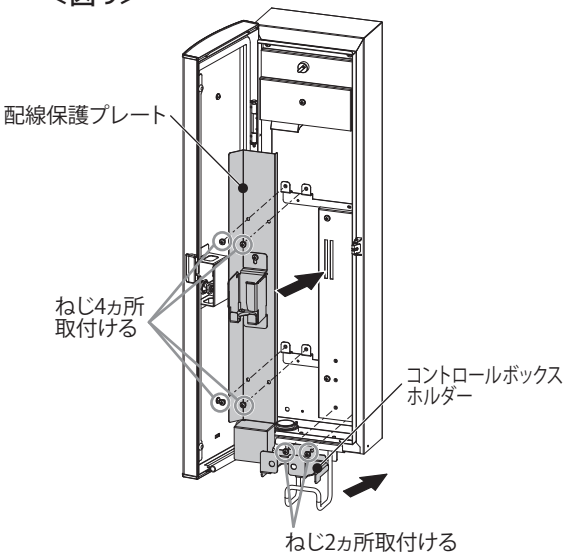
■施工手順

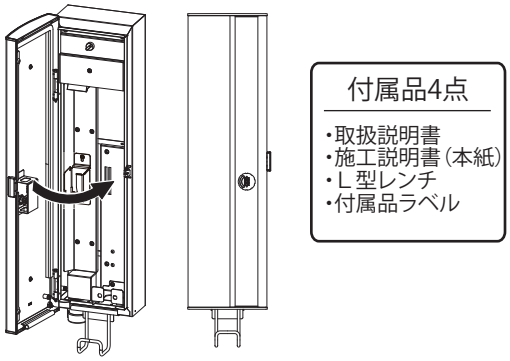
施工手順を説明します。

手順	作　業	説　明	注意事項
1	電源ＯＦＦの確認 （給電元）	給電元ブレーカが OFF になっていること、電源線に電圧がないことを確認してください。	**⚠危険** 感電防止のため、施工作業に入る前に必ず給電元ブレーカを OFF にして、電源線に電圧がないことを確認してください。また作業が完了するまで絶対に給電しないでください。
2	配線保護プレート・コントロールボックスホルダーの取外し	配線保護プレートとコントロールボックスホルダーを取外してください。 ＜図 1＞ 配線保護プレート ねじ4ヵ所取外す コントロールボックスホルダー ねじ2ヵ所取外す	
3	壁面への取付け	下記の寸法を参考に壁面にボデーを取付けてください。付属の大形丸座金と壁面を考慮した適切なねじで取付けてください。 （取付ねじ推奨サイズ：ねじ径 5、長さ 40 ㎜） ＜図 2＞ （単位：㎜） 4-φ7 180 546.5±1 壁面取付穴ピッチ 30.5 145±1 壁面取付穴ピッチ 546.5 取付ピッチ GL+820 穴あけ中心高さ 大形丸座金 取付ねじ※ 取付け部詳細 ※取付ねじは別途ご用意ください。	**⚠警告** 設置面との間に、異物を挟まないようにしてください。 **⚠注意** 十分な強度のある平らな壁面に設置、固定してください。強度が不十分な場合、製品が落下するおそれがあります。また本製品は水平に取付けてください。 ・取付高さは、製品のコンセントの高さが地上から 1400 ㎜になる位置を推奨します。その場合、取付ピッチの高さが地上より 820 ㎜になるよう施工してください。 壁面から電源線を配線する場合は、P.11 を参照してください。

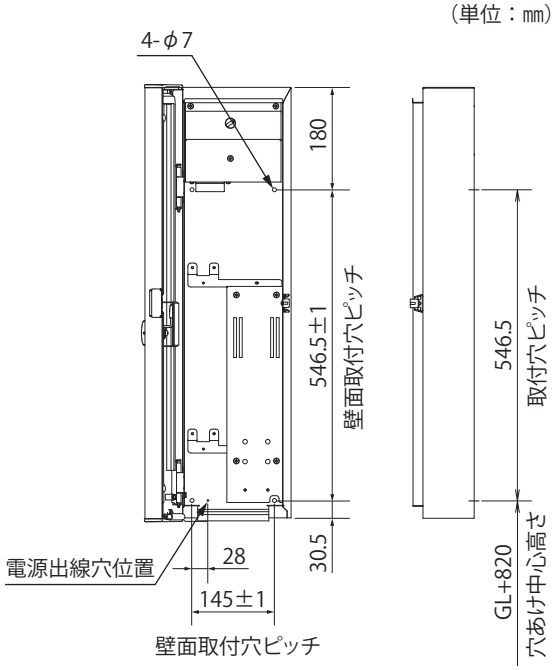
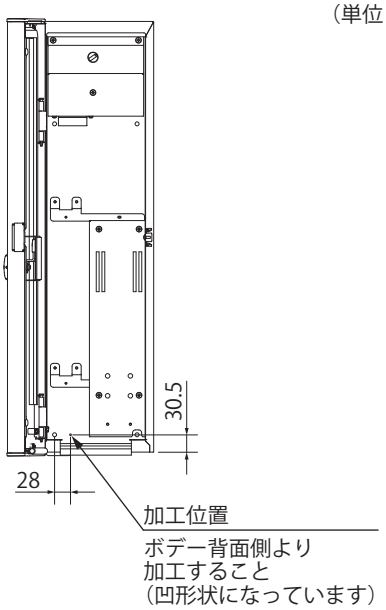
手順	作　業	説　明	注意事項
4	壁面との 防水処理	背面に水が浸入しないようにボデーと壁面との間を、変成シリコンシールなどを使用して適切な防水処理を行ってください。 <図 3>  	**⚠警告** ボデーの下方は水抜きになりますので、防水処理を行わないでください。 **⚠注意** 配線口は、配線作業終了後、適切な防水処理を行ってください。
5	シールドケース の取外し	・シールドケースの固定ねじを取外す。 ・シールドケースを下へスライドさせる。 ・スイッチハーネスのコネクタを取外す。 <図 4>  	・スイッチハーネスに張力がかからないように注意してシールドケースを取外してください。

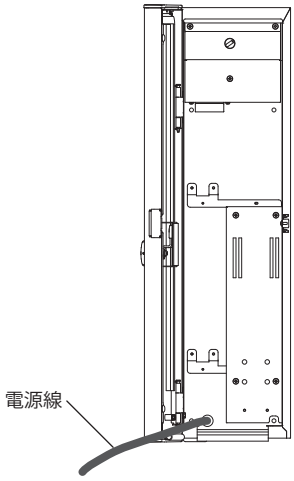
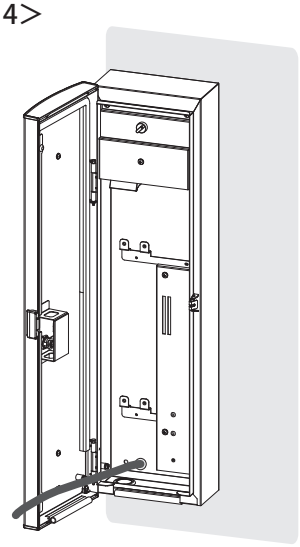
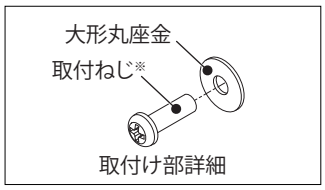
手順	作　業	説　明	注意事項
6	電源線の引込み	・底面のグロメットを取外し、可とう管が接続できる市販のコネクタを用意し取付けてください。 ・可とう管を接続し、入線用端子台まで届く長さ（約 900 ㎜以上）を引出してください。 ＜図 5＞  	**⚠警告** アースせよ 感電防止のため、必ず接地工事（D種）をしてください。 **⚠注意** 電源線、可とう管などは電気定格を確認した上、設置環境に応じ適切なものを選定してください。 ・将来のＥＶ容量負荷の増加を見越して、30A 分岐回路化を想定した電線の使用を推奨します。 ※推奨・単線φ2.6 ㎜（3 芯） ・より線 5.5 ㎟（3 芯）
7	電源線の接続	・電源線はキャビネット内の左側を通してください。 ・グロメットを外し、薄膜に切込みを入れて電源線を引込んでください。 ・グロメットを元の位置に戻してください。 ＜図 6＞  	**⚠警告** 導通部の接続ねじは施工説明書（本紙）の適正締付トルクの範囲内で定期的に増締めしてください。ねじがゆるんでいると発熱し、火災のおそれがあります。 ねじの呼び：適正締付トルク N･m M5 入線用端子：2.0～ 2.5

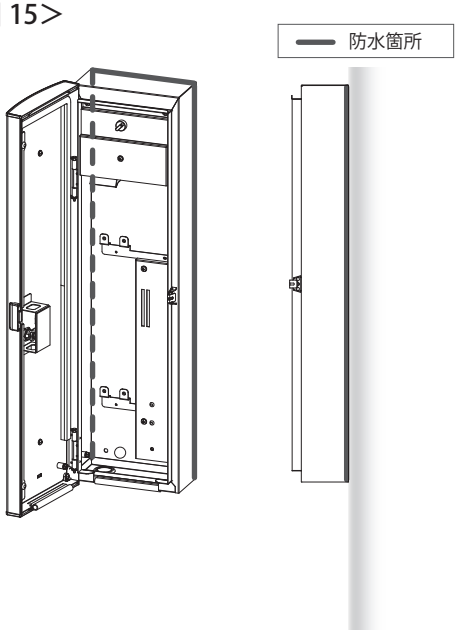
<table>
<tr><th>手順</th><th>作　業</th><th>説　明</th><th>注意事項</th></tr>
<tr><td>8</td><td>確認</td><td>・電源線が正しく結線されているか、無理な力が加わっていないかを確認してください。
・入線用端子台のねじ締めが正常に行われているか確認してください。
・入線用端子台のカバーを戻してください。</td><td>⚠注意
電源線は張力のかからないように余裕をもって配線してください。</td></tr>
<tr><td>9</td><td>シールドケースの取付け</td><td>手順５「シールドケースの取外し」（P.7）の逆の手順でシールドケースを取付けてください。
＜図 7＞
 
</td><td>⚠注意
部品の取付けには寸法の合った工具を使用し、適正締付トルクを守ってください。
<table><tr><th>ねじの呼び</th><th>適正締付トルク　N･m</th></tr><tr><td>シールドケースカバー取付ねじ</td><td>1.47～ 2.45</td></tr></table>
・スイッチハーネスを挟まないようにシールドケースを取付けてください。</td></tr>
<tr><td>10</td><td>ケーブルフックの取付け</td><td>底面に付属の取付ねじ（M５×１２SUS）にて、ケーブルフックを取付けてください。
＜図 8＞
 
</td><td>⚠注意
部品の取付けには寸法の合った工具を使用し、適正締付トルクを守ってください。
<table><tr><th>ねじの呼び</th><th>適正締付トルク　N･m</th></tr><tr><td>ケーブルフック取付ねじ</td><td>1.76～ 2.94</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>11</td><td>配線保護プレート・コントロールボックスホルダーの取付け</td><td>手順２「配線保護プレート・コントロールボックスホルダーの取外し」（P.6）の逆の手順で各部品を取付けてください。
＜図 9＞
 
</td><td>⚠注意
部品の取付けには寸法の合った工具を使用し、適正締付トルクを守ってください。
<table><tr><th>ねじの呼び</th><th>適正締付トルク　N･m</th></tr><tr><td>コネクタ収納部取付ねじ</td><td>1.47～ 2.45</td></tr></table></td></tr>
</table>

手順	作　業	説　明	注意事項
12	電源の投入	・配線や安全状態を確認した上で、給電元ブレーカを ON にしてください。	⚠注意 電源線は張力のかからないように余裕をもって配線してください。
13	検査	・スイッチを操作してコンセントの各相にテスターを接続して定格電圧が出力されていることを確認してください。 ・スイッチを OFF にしてください。 ・ドアを閉め作業は終了です。 下記付属品を施主様へお渡しください。 ＜図 10＞  	

●壁面から電源線を配線する

<table>
<tr><th>手順</th><th>作　業</th><th>説　明</th><th>注意事項</th></tr>
<tr>
<td>1</td>
<td>壁面の加工</td>
<td>下記寸法を参考にして、壁面に電源出線穴を加工してください。（推奨穴φ20 ～ 27）
＜図 11＞
（単位：㎜）
 
</td>
<td>⚠注意
十分な強度のある平らな壁面に設置、固定してください。強度が不十分な場合、製品が落下するおそれがあります。また本製品は水平に取付けてください。
・取付高さは、製品のコンセントの高さが地上から 1400 ㎜になる位置を推奨します。
その場合、取付ピッチの高さが地上より 820 ㎜になるよう施工してください。</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>ボデーの加工</td>
<td>下記寸法を参考にして、ボデー背面側より加工してください。（推奨穴φ20 ～ 24）
＜図 12＞
（単位：㎜）
 
</td>
<td>⚠注意
加工の際に発生した切り屑は完全に除去してください。けがをするおそれがあります。
加工した端面のバリを処理してください。端面をタッチアップペイントで補正してください。
・推奨
弊社製タッチアップペイント
品番：BP81-07F-Z</td>
</tr>
</table>

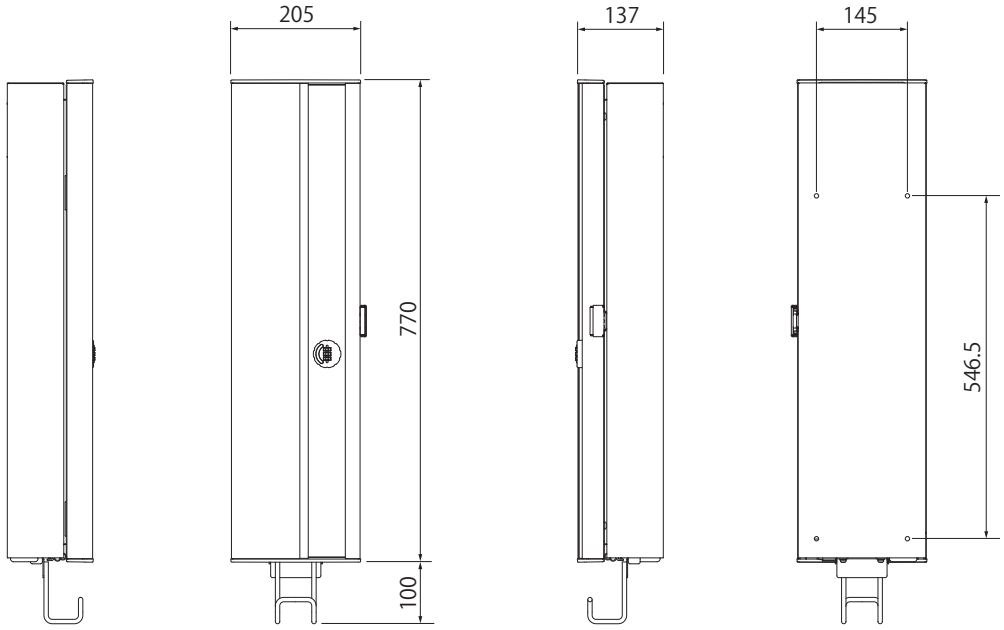
手順	作　業	説　明	注意事項
3	電源線の引込み	電源線をボデーに引込むために、ボデーの入線用端子台まで届く長さ（約 900 ㎜以上）を引出してください。 ＜図 13＞  	**⚠警告** アースせよ 感電防止のため、必ず接地工事（D種）をしてください。 **⚠注意** 電源線、可とう管などは電気定格を確認した上、設置環境に応じ適切なものを選定してください。 ・将来の EV 容量負荷の増加を見越して、30A 分岐回路化を想定した電線の使用を推奨します。 ※推奨・単線φ2.6 ㎜（3 芯） ・より線 5.5 ㎟（3 芯）
4	壁面への取付け	壁面にボデーを取付けてください。付属の大形丸座金と壁面を考慮した適切なねじで取付けてください。 （取付ねじ推奨サイズ：ねじ径 5、長さ 40 ㎜） ＜図 14＞   ※取付ねじは別途ご用意ください。	**⚠警告** 設置面との間に、異物を挟まないようにしてください。 **⚠注意** 十分な強度のある平らな壁面に設置、固定してください。強度が不十分な場合、製品が落下するおそれがあります。また本製品は水平に取付けてください。

手順	作　業	説　明	注意事項
5	壁面との 防水処理	ボデーと壁面との間を、変成シリコンシールなどを使用して適切な防水処理を行ってください。 <図 15>  	**⚠警告** ボデーの下方は水抜きになりますので、防水処理を行わないでください。 **⚠注意** 配線口は、配線作業終了後、適切な防水処理を行ってください。 このあとは、手順 5（P.7）から行ってください。

■仕様

項目		仕様	
品名記号		ＥＶＰ－１Ｒ１	ＥＶＰ－１Ｒ２
定格電圧		ＡＣ１００Ｖ	ＡＣ２００Ｖ
基準定格電流		１５Ａ	２０Ａ
連続使用定格電流		１５Ａ	１６Ａ
外形寸法 （Ｗ×Ｈ×Ｄ）		２０５㎜×７７０㎜×１３７㎜	
製品質量		約１０kg	
環境	保護性能	ＩＰ４４（ケーブル入線部は除く）	
	設置環境	屋内および屋外	
	温度	－１０℃～＋４０℃（氷結なきこと）	

（単位：㎜）



左側面　正面　右側面　背面

MEMO

施工業者名	
TEL	施工年月日　　年　　月　　日

仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。
また、ご不明な点がありましたら弊社お客様相談室にお問合わせください。
この説明書の内容は 2023 年 12 月現在のものです。

B200221928

日東工業株式会社
NITTO KOGYO CORPORATION

〒480-1189 愛知県長久手市蟹原2201番地
お客様相談室／TEL（0561）64-0152
http://www.nito.co.jp